

# 微生物を用いた 固液分離式バイオトイレで成長

株式会社ミカサ



固液分離式を採用したバイオトイレ

## 建設現場ではレンタル方式が人気

### 参入から四半世紀

山間地や建設現場で使われる自己処理型トイレの製造販売を手がける。25年前に燃料式トイレで業界に参入し、試行錯誤を続ける中で現在の微生物の力で処理を行うバイオトイレに行き着いた。

### レンタルが人気

異なる目的の二つの槽を用いた方式を採用し、水を使わず、臭いも少ないのが特色。固体と液体を分離することにより処理の効率を高める。杉のチップが入った第1槽で固形物をかき混ぜ、網を通過した液体は第2槽で曝気（ばっき）処理を行い、蒸発を促す仕組みとなっている。

バイオトイレの売上げの4分の1は、レンタル方式によるもの。建設現場などでの人気が高い。



経営者から  
ひとこと  
代表取締役  
三笠 大志さん

被災地やイベント会場など目的に応じたトイレをお届けできるよう、同業他社と自己処理型トイレ研究会を設立し、最適なトイレを提供しています。

●主な設備

●主な取引先

全国の地方自治体、  
(株)九建、(株)管組

### 独自の技術



二つの処理槽を使った処理方式は独自のもの。また杉のチップを使っているのも特色だ。もみ殻やおがくずを使うものに比べて長期間利用することができ、メンテナンスの負担が小さいという。

### 自社の強み



三笠社長は「25年以上事業を継続してきたこと」を強みに挙げる。自己処理型トイレ業界は新規参入と撤退が繰り返されている。そんな中で長年事業を続けた同社に対する顧客からの信頼は厚い。

### 今後の展望



技術開発は自社の基盤であり、IoTを使った遠隔監視型や、他の処理技術と組み合わせたハイブリッド型など、今後の開発にも意欲的。新方式のトイレの発売もそう遠い日の話ではなさそうだ。

### 株式会社ミカサ

TEL 097-551-8826

MAIL info@mikalet.jp

住所 大分市高城西町7-27

URL https://www.mikalet.jp/

設立 1989年

資本金 1,000万円

従業員 6人